

令和4年度 図書館だより 〈第2号〉

令和4年6月24日(金) 群馬県立太田フレックス高等学校図書室 発行

青少年読書感想文全国コンクール 課題図書

今年度の高等学校の部・課題図書が図書室に入りましたので紹介します。気になる本があったら読んでみましょう。読書感想文コンクールの募集要項は、夏休み前に国語科から配布されます。

『その扉をたたく音』 瀬尾まいこ／著 集英社

老人ホーム「そよかぜ荘」でギターを弾き語りを頼まれた29歳の宮路は、会場で介護士の渡部のサクスを聞き心が動く。そんな宮路に入居者の「水木のばあさん」が「ぼんくら」と声をかけたことから、買い物やウクレレの指導などを頼まれるようになる。

渡部と一緒に「そよかぜ荘」で念願の演奏会を開いた宮路。水木からは、「ぼんくらな息子へ」と題した愛情あふれる最期の手紙を受け取る。「そよかぜ荘」での体験をもとに、自立を決意して親からの仕送りを断る。

『クジラの骨と僕らの未来』 中村玄／著 理論社

子どもの頃から生き物が大好きで、ショップで聞いたり図書館で調べたりして爬虫類などを飼育していた著者。中学では理科の教員に感化され試行錯誤で骨格標本をつくり、高校で大学の研究室の見学、アルゼンチンへの留学などを経験し、海洋大学への進学を決意。クジラ博士となるまでが語られる。

クジラを追いかけて世界中の海を航海して研究に没頭する姿から、研究の奥深さとともに子どもの頃の探究心が成長とともに深化していく様子が伝わってくる。

『建築家になりたい君へ』 隈研吾／著 河出書房新社

東京オリンピック2020のメイン会場となった国立競技場をはじめ数々の建築を手がけた著者が、建築家をめざすきっかけとなった代々木競技場、夢のアフリカ調査旅行、初めての建築依頼、中国での初建築「竹の家」など自らの体験とともに、建築にとって重要なことを語っていく。それは建築にとどまらず、すべての人にとって生きていく上で有効な要素を含む。

時に偉大なる先達に対しても厳しい目を向けつつ、自らの信ずる道を進んできた著者だからこそ示唆に富む内容です。



(紹介文は、学校図書館速報版4月1日号より引用)

2022 本屋大賞「翻訳小説部門」作品

4月に発表になった1～3位の作品を紹介します。3冊とも図書室に置いてあります。

1位 『三十の反撃』 ソンウォンピョン／著 祥伝社

キム・ジハ。平凡な彼女は、世の中にも会社にも期待することを諦めていた。だが、一癖ある同僚との出会いにより社会へ小さな反撃を始める。次第にジハは自分らしい生き方を模索するようになり、第5回済州4・3平和文学賞受賞作品。

3位 『クララとお日さま』 カズオ・イシグロ／著 早川書房

人工知能を搭載したロボットのクララは、病弱の少女ジョージと出会い、やがて2人は友情を育んでゆく。生きることを問う感動作。愛とは、知性とは、家族とは？ノーベル文学賞受賞第一作、カズオ・イシグロ最新長編。

2位 『自由研究には向かない殺人』 ソホリー・ジャクソン／著 東京創元社

高校生のピップは自由研究で、自分の住む町で起きた17歳の少女の失踪事件を調べている。交際相手の少年が彼女を殺して、自殺したとされていた。その少年と親しかったピップは、彼が犯人だとは信じられず、無実を証明するために、自由研究を口実に関係者にインタビューする。だが、身近な人物が容疑者に浮かんできて…。ひたむきな主人公の姿が胸を打つ、傑作謎解きミステリ！

(紹介文は、e-honより引用)



今月号の雑誌紹介

科学



量子コンピュータ 数学的思考特集

スポーツ



佐々木朗希ほか 野球特集

ファッション&娯楽



系統別夏美容&ファッション特集

時事



フェイクニュース特集

エンタテインメント



2022タレント ランキング特集

料理



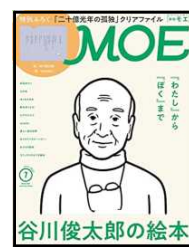
なすのおいしい 食べ方特集

本・コミック



人気作家のおやつ 物語特集

絵本



谷川俊太郎の絵本 特集

督促状の発行について

返却が遅れている生徒に、ゼミ担任の先生から督促状を配布しました。連絡をもらったひとは、早めに返却してください。